

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	特定非営利活動法人ままとんきっず
-----	------------------

取組の名称	地域と連携した乳幼児の虐待予防のための居場所作りと相談機能強化 9
実施場所	ままとんきっず事務所（川崎市多摩区布田 24・26） グループリビングおでんせ中の島（川崎市多摩区布田 24・25） みらぼホール（川崎市多摩区菅馬場 1・19・24 はぐるま共同作業所）
対象地域	主に川崎市多摩区
対象地域の 特色・課題	■特色 ・多摩区ではマンションの増加と共に核家族化が進み、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、地域とのつながりの希薄から親子で孤立化する傾向にあります。 地方出身の夫婦は実家のサポートを得ることが難しく、周囲に相談できる人がいない母親の場合は子育ての悩みを自分一人で抱えることになり育児不安やストレスに繋がっています。 ・2017年の多摩区の調査では子育て世代の約27%が孤立感を感じており、父親の子育てへの参加度が低くなるにつれ孤立感を感じる割合が高いことが分かりました。 虐待していると思うことがある人は約15%にのぼり、また約50%の母親が自分の時間を持ちリフレッシュすることを望んでいるという結果が出ています。 ■課題 ・子育ての悩みを一人で抱えていると知らず知らずの内にストレスが溜り、その矛先が子どもへと向かい虐待に繋がる可能性があります。

	・近年は家事や育児に関わる父親も増えてきていますが、仕事が忙しく実際に何をしたらいいのかわからない父親もまだまだ多く、パートナーとの関係に悩む母親も多いです。 ・子どもを0歳・1歳で保育園に入れて職場復帰する母親が増えていて、幼稚園への入園を検討している親子は孤立感を感じています。								
取組の趣旨・目的	・乳幼児期の子育ての悩みや不安・育児ストレスの軽減に繋がるような講座に参加することで、悩んだり心配したりしているのは「自分だけではない、みんな一緒」なんだと知り、お互いの経験を共有することでマスコミやネット情報に惑わされることなく親も子どもと一緒に成長していけます。 ・乳幼児の子育て家庭のニーズに柔軟に対応することで、新米ママのための子育て講座から始まる「切れ目のない子育て支援」が児童虐待の予防や子育て不安の解消に繋がります。 ・地域の関係各所や団体と連携して、乳幼児親子が安心して地域へ踏み出していける地域作りに寄与します。								
実施内容・実施スケジュール	実施実績（のべ日数と利用した親子ののべ人数） 1. 通常事業 <table> <tr> <td>ままとんサロン</td><td>101 日 / 250 名</td></tr> <tr> <td>一時預かり</td><td>22 日 / 48 名</td></tr> <tr> <td>グループ貸し</td><td>2 日 / 11 名</td></tr> <tr> <td>グループ保育</td><td>89 日 / 339 名</td></tr> </table> 2. 今年度特に取り組む事業 ①スペシャル講座	ままとんサロン	101 日 / 250 名	一時預かり	22 日 / 48 名	グループ貸し	2 日 / 11 名	グループ保育	89 日 / 339 名
ままとんサロン	101 日 / 250 名								
一時預かり	22 日 / 48 名								
グループ貸し	2 日 / 11 名								
グループ保育	89 日 / 339 名								

	9/9 おしゃべりサロン 4名 10/21 赤ちゃんにもママにも優しい安眠講座 6名 11/18 初めてのアンガーマネジメント 6名 12/16 アンガーマネジメントステップアップ編 6名 1/20 おしゃべり会 0名 2/17 ワーキングママのお話し会 10名 3/17 パートナーとの関係 0名 ②地域交流 12/7 なかのしま子ども応援まつり 40名 3/3 おしゃべりサロンあゆみ×ままとんきっずコラボイベント 26名 ③おしゃべりホットライン 0名 ④ふれあい遊び 43日/ 99名		
参加者の年代	1. 乳幼児親子 2①乳幼児親子 ②0歳からシニア	定員 (1回あたり)	講座 親子5組 サロン 定員無 イベント 定員無
実施頻度	講座 月1回 イベント年1回 サロン 月・水・金曜日	活動日数 (年間)	204日
スタッフ体制	・子育て経験豊かなスタッフが講座 MC・保育・サロンに入り、専門家からだけでなく先輩ママの生の声を気軽に聞ける環境を作ります。 ・保育については保育士・幼稚園教諭・子育て支援員の資格保持者や子育て経験豊かなスタッフを保育される子どもの人数とほぼ同数そろえます。 ・「みなみすげ・にしきがおか・なかのしま・ますがた」4館の川崎市地域子育て支援センターを16年間運営しており、地域の親子さんに寄り添っているスタッフが25名在籍しています。ほぼ全員が子育て支援員の研修を受けています。		

連携する団体・ 連携の手法	■連携する団体 ・令和元年 8 月に立ち上げた「なかのしま子ども・子育て 応援ネットワーク」で繋がった団体だけでなく、今後も連 携先を増やしていきながら地域に根ざした活動をしていき ます。 団体名：中野島ファミリーカフェ おしゃべりサロンあゆみ 多摩区でプレーパークをやっちゃおう会 わがまま SUN バンド ひょっこりガーデン 中野島・登戸・菅地区の寺子屋事業受託団体 かわさきさくら児童家庭支援センター おやじの会 中野島学童ホール フードバンク川崎 はぐるま共同作業所 主任児童委員 他 ■連携の手法 ・お互いの活動・地域の子育て環境や子育て家庭のニーズ についての情報共有や活動協力をします。 ・多世代が参加できる地域交流のイベントや講座を共催し ます。 ・支援が必要な子どもの発見や支援に向けた関係機関との 連携に関する手法については、日頃から気になる親子を見 守りながら関係機関との連携が必要と思われた時に紹介や 情報共有を行います。
--------------------------	--

取組実施により 見込まれた効果	・サロンには必ずスタッフがいますので、子育ての不安やストレスを抱える母親が安心して利用できました。 ・グループ保育・一時保育は母子分離により共依存に陥るのを防ぎ、母親の心身の負担軽減に繋がりました。 ・スペシャル講座は専門家の話を聞いて相談もできました。子育ての不安やストレスを抱える母親がお互いの経験を共有することで「自分だけではない、みんな一緒」なんだと知り、親も子どもと一緒に成長する機会となりました。ただ近年、講座よりも親子で参加できるイベントや居場所を求める声が寄せられることが増えてきたため、次年度は親子で参加できる居場所の提供を検討していきます。 ・多世代が参加できる地域交流のイベント「中野島こども応援まつり」を実施し、子ども 18 名・大人 20 名・地域の方 2 名の参加がありました。 準備段階では、地域で活動されている団体と情報交換や打ち合わせで連携がより深まりました。 ・地域で活動されている「おしゃべりサロンあゆみ」と一緒にコラボサロンを企画したところ、子ども 13 名・大人 13 名の参加がありました。荒天の中での開催でしたが「来てよかった」「またやってほしい」という声があり、それぞれが交流を深めることができました。
----------------------------	---